

一般社団法人 全国腎臓病協議会

2015 年度（平成 27 年度）事業報告（抄録）

一般社団法人全国腎臓病協議会としてコンプライアンス（法令遵守）のある組織体制づくりに取り組み2年目となった2015年度は、コンプライアンス委員会の設置、諸規程の整備等に取り組み、公益法人としてふさわしい組織体制づくり、役員、事務局職員などの意識改革の定着に努めました。

組織内では、患者の高齢化、後継者不足、患者会への無関心等様々な背景の中で会員の減少が続き、今年度も会員の減少は収まらず、依然として喫緊の課題となっています。

社会保障制度では、兼ねてより反対表明をしてきた入院時食事療養費の自己負担引き上げや患者の申出を起点とした自由診療を公認する患者申出療養制度については、関係団体と連携し、参考人質疑などにて反対意見を訴えるなど、地道に取り組みました。

自立支援医療（更生医療）については、障害者総合支援法施行3年後の見直しの中で、「重度かつ継続（一定以上所得）」の経過措置が、例外なく見直しの対象になっていることがわかり、社会保障委員会が中心となり厚生労働省等への要望活動を行った結果、結論は期限の切れる3年以内に出されることになりました。

2016年診療報酬改定では、厚生労働副大臣と面会するなどし、マイナス改定とならないよう要望を行いました。

患者の高齢化・要介護患者の増加などの取り組みは、通院介護委員会が中心となり各地の通院対策や施設に関する情報収集を行い、介護施設向けパンフレットの発行や「は一となび」にて組織内や組織外へ情報発信を行いました。

その他にも、今後想定される大規模災害について、災害対策委員会が中心となり、組織向けの「災害対策マニュアル」改訂3版を発行し、大規模災害発生時の対策や災害規程の整備等に取り組みました。

全腎協は、この1年間様々な課題に取り組んできました。透析患者が安心して生活が出来るよう次年度も引き続き実効性のある活動に取り組んでいきます。

以下、2015年度の主な事業です。

1. 腎臓病に関する市民公開のシンポジウムや講演会の実施

- (1) 2015 年度全腎協全国大会及び長崎県腎協設立 40 周年記念合同大会の開催
5 月 17 日 長崎ブリックホール（長崎市）
- (2) 第 22 回腎不全対策キャンペーン講演会の開催
8 月 30 日 今池ガスビル 9 階ホール（名古屋市）
- (3) 腎臓病（CKD）シンポジウム及び講演会等の開催
 - ① カネカメディクス共催透析合併症対策講演会
 - ア. 福島地区講演会の開催（9 月 6 日）ホテルハマツ郡山
 - イ. 茨城地区講演会の開催（9 月 27 日）ホテルザウエストヒルズ水戸
 - ウ. 宮崎地区講演会の開催（11 月 1 日）ホテルスカイタワー
 - エ. 滋賀地区講演会の開催（11 月 15 日）大津市民会館
 - ② キッセイ薬品工業共催腎臓病シンポジウムの開催
 - ア. 東京CKD（慢性腎臓病）シンポジウム（4 月 26 日）一ツ橋ホール
 - イ. 大阪CKD（慢性腎臓病）シンポジウム（9 月 27 日）大阪国際会議場
 - ③ バイエル薬品共催クッキングセミナー
 - ア. 岐阜（11 月 22 日）イ. 大分（12 月 6 日）ウ. 岡山（12 月 13 日）

2. 臓器移植普及・推進のための国民に向けた啓発事業の実施

- (1) 全腎協臓器移植フォーラム in 新潟長岡 2015 の開催
10 月 25 日 ホテルニューオオタニ長岡NCホール
- (2) えてがみコンテストの開催
- (3) 臓器移植普及推進月間、市民等を対象に全国街頭キャンペーンの実施

3. 腎臓病に関する無料相談の実施

- (1) 専門家（医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、認定心理士）による電話相談（フリーダイヤル）事業
 - ① フリーダイヤルで専門相談を実施
 - ア. 生活相談 ソーシャルワーカーによる「生活・福祉」相談 117 件
 - イ. 栄養相談 管理栄養士による「食事・栄養」相談 136 件
 - ウ. 心の相談 認定心理士による「こころ」相談 50 件
 - ② 事務局への相談
 - ア. 事務局電話・FAXによる相談件数 915 件
 - イ. 事務局宛メールによる相談件数 118 件

4. 腎臓病に関する情報発信

- (1) 会報「ぜんじんきょう」の発行 年 6 回（No269～274）、年間総発行数 62 万部を発行
- (2) 「声の会報」 視覚障害者等に音声化し加盟組織を通じて「声の会報」（C

D) を配布。

(3) ホームページの活用

(4) ニュースレターでの情報発信 2015 年度「全腎協ニュースレター」第 1～14 号を発行

5. 通院介護対策事業への取り組み

(1) 2015 年度通院介護研修会の開催 (11 月 7 日・8 日)

(2) 情報発信

① 通院ボランティア通信「はーとなび」第 98 号を発行

② 介護施設スタッフ向け冊子「腎臓病患者さんの身体と生活」発行

6. 透析医療の確保、治療と生活の質の向上への取り組み

(1) 公的医療費助成制度の確保

① 自立支援医療（更生医療）の経過措置維持への取り組み

社会保障審議会障害者部会傍聴、同部会委員との懇談、厚労省障害保健福祉部との懇談及び意見書提出 (10 月 20 日)

(2) 診療報酬改定への取り組み

① 人工腎臓透析用剤の安定供給確保に関する要望書の提出 (8 月 12 日)

② 診療報酬改定について厚生労働副大臣との懇談および要望書の提出 (12 月 8 日)

(3) 「患者中心の医療」の実現

第 1 回慢性腎臓病対策勉強会の開催 (12 月 17 日) 衆議院第一議員会館

(4) 治療選択の拡大への取り組み

第 7 回日本下肢救済・医療学会学術集会・市民公開講座への参加 (7 月 12 日) パシフィコ横浜

(5) 再生・移植医療の調査

(6) 2016 年度厚生労働省予算要望 (8 月 20 日)

7. 生活・所得補償

(1) 生活出来る年金額の実現への取り組み

障害年金の認定誤りについての啓発活動

(2) 腎臓病患者、透析患者の就労支援

8. 災害対策

災害対策マニュアル改定第 3 版の発行

9. 調査研究と政策提言

(1) 第45次国会請願の実施

3月17日 衆議院第一議員会館

紹介議員 316名、集会来場議員 29名、秘書 65名

参加者県組織 177名、理事 17名、監事 1名、事務局 5名

請願筆数：633,532筆

請願募金：2,972,027円（2016年3月31日現在）

(2) 第60回日本透析医学会学術集会・総会への参加

6月26～28日 パシフィコ横浜

10. 組織的課題への対応

(1) 一般社団法人への移行としてふさわしい組織基盤の確立

コンプライアンス委員会の設置及び委員会の開催

(2) 組織強化、入会率の増加への取り組み

第60回日本透析医学会学術集会へのブース出展による患者会紹介

6月26～28日 パシフィコ横浜

(3) 中長期の全腎協の運営、財政について検討する機関の設置

中長期運営検討委員会の設置および開催

11. 事業推進のために

(1) 各種会議の開催

① 社員総会

第2回定時社員総会 5月30・31日 大森東急REIホテル

第2回臨時社員総会 11月28・29日 大森東急REIホテル

第3回臨時社員総会 3月27日 TKP品川カンファレンスセンター

② 理事会

第5回通常理事会 4月25・26日 アワーズイン阪急

第4回臨時理事会 5月19日 あすか会議室

第5回臨時理事会 6月6・7日 アワーズイン阪急

第6回通常理事会 9月12・13日 アワーズイン阪急

第7回通常理事会 1月16・17日 アワーズイン阪急

第6回臨時理事会 1月30日 全腎協事務局

第8回通常理事会 3月12・13日 アワーズイン阪急

(2) その他会議・研修会

① 全国事務局長・事務局員研修会、理事研修会の開催

7月4・5日 アワーズイン阪急

外から信頼される会計処理を行うために、患者会活動を考える他

(3) ブロック会議

(4) 事業推進体制

委員会の設置と現状に合致した委員会体制作り

① 中長期運営検討委員会

② コンプライアンス委員会

③ 組織対策委員会

④ 社会保障委員会

⑤ 通院介護委員会

⑥ 災害対策委員会

(5) 関係学会等との連携

(6) 関係団体との連携